

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 6 年 12 月 26 日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市川子ども文化ステーション
(団体番号 81)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1, 545, 000円
(2) 補助対象経費総額	768, 000円
(3) 補助金交付決定額	150, 000円
(4) 補助金交付概算払額	150, 000円



市川市市民活動団体補助金軽微変更届書

令和6年 12 月 26 日

市川市長

団 体 名 特定非営利活動法人
市川子ども文化ステーション
(団体番号 81)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2024」

2 変更の内容

●会場の変更 市川市大洲防災公園から千葉県立現代産業科学館へ変更

●開催日程の変更 10/19（土）、10/20（日）開催予定から9/28（土）、9/29（日）へ変更
準備期間も部分的に前倒しになりました（子どもスタッフ会議スタート 8/25→7/7、振り返りの会 10/27→10/6など）。

3 変更の理由

当初は大洲防災公園での開催を予定していましたが、公園での開催は天候に左右されることが大きく（地面が土で完全屋外のため降雨に弱い）、ずっと懸案事項として検討を重ねていました。過去に開催実績のある千葉県立現代産業科学館への開催場所への協力をお願いしたところ、要望を開き入れて頂くことができ実現することになりました。開催時期は検討を重ね、科学館の大型展示期間を避けて9月末で調整していただくことができ、上記日程への変更となりました。

(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2024」
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・子どもスタッフ会議：7/7、7/28、8/25、9/1、9/8、9/15、9/22、10/6の8回実施。小学4年生～高2まで46人が参加。勤労福祉センター、千葉県立現代産業科学館研修室・体験学習室にて。また中学生以上の子どもスタッフコア会議で事前準備を進めてきた。 ・感染症予防対策や衛生管理について大人スタッフが保健所にて指導を受けそれを共有し、子どもスタッフ会議の中で話合う時間を設け、確認しながら進めていった。 ・子どもスタッフの創造力を高めていくためのワークショップを、[]を講師に7/28に実施（最悪のミニ☆いちかわから最高のミニ☆いちかわを考える）。 ・6月中旬から子どもスタッフ募集を行い、定員30人に対して33人が応募し、前年度からのコアスタッフ13名が加わり46人の子どもスタッフで運営していった。 ・子どもスタッフ保護者説明会を7/7、9/8に実施。 ・ボランティアスタッフ募集については、募集チラシを7月から配布、SNSやHPでも広報した。ボランティアとしてのべ200人以上の方々に関わってくださった。まちの特徴や仕組み、子どもとの関わり方などをマニュアルの画像や動画で説明したものを配信した。 ・当日参加者9/28・29両日で1327人、ボランティア約259人が参加してくださった ・子どもスタッフ・ボランティアスタッフまとめの会を10/6に実施。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・市内全小中学校、4年生～中学3年までを対象に子どもスタッフ(実行委員)募集のチラシを6月中旬に配布。 ・ボランティア募集チラシを7月から市内公民館・ボランティアセンターなどに配布・設置。 ・市内全小中学校にミニ☆いちかわ参加募集のチラシを7月中旬に配布。 ・ボランティアスタッフ募集チラシを市内公民館等に7・8月に配布し、必要に応じてマニュアルの画像や動画を配信した ・団体のHPやSNSに募集の案内や子どもスタッフ会議の様子を掲載。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今年で22年目の開催。事業を重ねるごとに以前小学生として関わった子ども達が、成長し中高生や大学生となって、今の小学生スタッフのサポートや事業の運営側の役目を担ってくれるという成果が得られた。子どもスタッフと年の近いコアスタッフ（中高生）は大人スタッフと子どもスタッフの間の架け橋となり、会議の進行や活気ある雰囲気づくりに寄与し、子どもスタッフの準備をサポートしてくれた。会議を重ねる中で、学年や学校の違う子どもたちが仲良くなり、意見を交わし、自分のやりたい事を実現することができた。また「ミニ☆いちかわ」当日も参加した延べ1372人の年齢も学校も違う子どもたちにも“子どものまちをつくる”体験を通じ様々な経験を積み重ねることができた。それは各々に自己肯定感を育むことにつながった。うまくいかない経験も別の機会に逆説的に活かせる体験になるかもしれない。 地域でボランティアを希望している人とこの事業にとの出会いで双方により成果をもたらした。地域で子どもを育てていく思いを共有しこれからも理解者を増やしていきたい。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 子どものまちは3か月にわたる子ども会議という準備の上に成り立っている、その準備期間の中で様々な年齢や学校の子と関わり、互いの違いを認めて協力したり時にはぶつかったりしながら関係性を築いていく。そのために、会議の前にはアイスブレイクを行ったり、課題についてグループワークを行うことで意見を出しそれをまとめて発表する経験を積み重ねてもらおう。自分で考える解決策や案は言われてやる事よりも自発的な活動につながるので会議の構成に取り入れた。 大人の理解も深めてもらう必要があり、保護者会は準備会議の期間中に2回行い、子ども達の様子を知らせるとともに事業の進捗を知らせた。共感を得られた方で可能な方にはボランティアに入ってもらった。また社会福祉協議会に登録しているボランティア希望の方を紹介をいただき多くの方にボランティア参加いただいた。子ども達と地域の大人の関わりを深め事業の理解につなげていきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2024」当日の様子

撮影年月日：2024年9月28日



タイトル：「子どもがつくるまち・ミニ☆いちかわ2024」子どもスタッフ会議の様子
食品ブースのメニューについて調理実習を行い、手順や内容を検討や確認する

撮影年月日：2024年9月15日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ2024」

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	709,000	当日材料費 500円×1372人＝686000円 子どもスタッフ資料代 500円×46人＝23000円
寄附金収入	615,000	商店や企業からの協賛金
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	71,000	団体の本会計より充当
合 計	1,545,000	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	26,000	0	外部講師等の招へい <u>あり</u> ／なし
謝金	272,000	0	協力スタッフ謝金のべ43人分
交通費	36,600	0	外部協力者交通費1人分 1600円 スタッフ交通費 のべ13人分
消耗品費	102,578	0	マスク・ゴミ袋など衛生用品代、 資料等用紙代、インク代、文具代、他
印刷製本費	130,550	130,000	ボランティア募集チラシ1500枚6,110円 子どもスタッフ募集チラシ14000枚26,140円 参加者募集チラシ25000枚46,820円 当日プログラム(12P)2000部40,430円 当日市民カード1900部5,390円、 報告チラシ(A4)500部2,950円、他コピー代
通信運搬費	165,650	165,000	機材運搬費 165,000円、郵送料550円
保険料	42,000	0	ボランティア行事保険（@28×1100人）
使用料及び賃借料	486,210	473,000	*会場借料13,210円は補助対象外 テント、机、椅子、音響機材等 473,000円
原材料費	152,509	0	当日材料費（ブース材料費、文具、テーブル等）
会議費	44,300	0	子どもスタッフ会議材料（お菓子）等
食糧費	86,383	0	当日ボランティア軽食補助約150人×2日分
その他	220	0	振り込み手数料
	1,545,000	768,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年2月24日

市川市長

団体名 行徳芝桜の会

(団体番号 85

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	227,968円
(2) 補助対象経費総額	200,000円
(3) 補助金交付決定額	100,000円
(4) 補助金交付概算払額	100,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・毎年参加の市主催の春のまちなかガーデニングフェスタに参加 ・新たに約100平方メートルのバラ花壇を造成、育成中の苗約100株を移植 ・定期的なバラの殺虫、殺菌作業、水やり、草取りの実施 ・定期的なバラ枝の剪定、施肥実施 ・花壇には四季折々の花を移植 ・毎週火曜日2時間、草花グループは草取り、水やり、施肥、補植、増殖等実施 ・造成した花壇を中心に施肥に重点を置いて管理
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・春のまちなかガーデニングフェスタでは市長が来園され、行徳にこんな素晴らしいバラ園があるのは知らなかったとの言。 ・特別な広報活動は無いがネット上でバラ園や花畑の紹介記事、投稿、動画が多くなり、利用者も増加傾向にあります
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	・バラ花壇の増設により本格的なバラ園へと展開途上で、周りの緑や水辺とコラボして行徳の景観のスポット、憩いの場として、これからますます利用者が増加が予想されます。 ・今迄は個人負担のボランティア活動が主体で、管理する費用が十分ではなかったが 補助金を受けることにより、必要な肥料、苗などがいままでよりも調達が可能になり、バラ園も年を追う毎に拡大し利用者も増加し、多くの方から賞賛とお礼の言葉をいただくようになりました。 ・今年度もバラ花壇の拡張に伴うバラ苗や草花の苗など必要な資材が、補助金と寄付金により計画どおりに購入でき、会員の熱心な取り組みもあり、更に市民に喜ばれるお花畑になってきました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・芝桜の草取りは一年中必要で労力的にも負担になっていたのと1年に一ヶ月間位の開花で、後の11ヶ月は花が少なかったが、現在芝桜から草花に移行中で、管理が楽になってきているのと四季の花が見られるので、今迄以上に利用者に喜ばれています。今後は更に宿根や雑草にも強く、乾燥にも強い花も組み入れ、又季節に合わせた花も入れて利用者に四季の花を楽しんでもらうように考えています。 ・バラ花壇の拡張は限られていますので、今後はバラの管理の面で、つるバラのアーチを組み入れたり、レベルアップも考えています。 ・今後も継続的な管理ができるように、組織の強化が課題であり、NPO法人の立ち上げを考えています。又行政との協働、特に下水処理場管理者には、使用許可願いだけの任せきりではなく、合意書締結など協働の道を提案しています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：バラ園

撮影 令和 6 年 5 月 6 日：



タイトル：福栄スポーツ広場事務所

撮影 令和 7 年 2 月 13 日：



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：芝桜花壇とバラ花壇の再生、維持管理事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	127,968	会員等からの寄附
補助金収入	100,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当		団体の本会計より充当
合 計	227,968	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい あり／なし
交通費			
消耗品費			
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費	227,968	200,000	草花苗、肥料、土など
合 計	227,968	200,000	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025年 2月 19日

市川市長

団体名 戦争はいやだ!市民の会

(団体番号 86)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	94,296円
(2) 補助対象経費総額	93,281円
(3) 補助金交付決定額	65,900円
(4) 補助金交付概算払額	65,900円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	戦争はいやだ！いのち・人権こそ！
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 2024年5月4日(土)第1回「集い」入管について 2 お話 ■■■■■さん 場所 市川市文化会館第5会議室 参加22名 2024年8月31日(土)第2回「集い」イスラエル問題 お話 ■■■■■さん 場所 市川市文化会館 第2会議室 参加30名 2025年2月8日(土)第4回「集い」わたしと日本被団協 お話 ■■■■■さん 場所 市川市八幡市民会館第3会議室 参加20名 ⇒ ■■■■■さんの体調悪化で講演は中止。事前連絡ができず、参加費無料としてビデオ視聴と意見交換の場とした。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	参加を呼びかけるチラシを作成し、賛同人及び過去の参加者などに郵送し、新聞各紙、情報欄に掲載依頼。メーリングリストでの呼びかけを数回ずつ行った。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 入管難民法について、前回の積み残し部分を補い、外国人に対する処遇の歴史的経緯を、改め手振り返り、今も続く外国人排斥政策を知り、市川市にも在住外国人が人口の3.6パーセントなのに、「目に入っていない」現状について考えを深めた。■■■■■からは1年たっても終わらないイスラエルの攻撃について、イスラエルという国の歴史から解説していただき、一方的情報を鵜呑みすることから免れた。4回「集い」はノーベル平和賞の荣誉に輝いた被団協事務局次長で、市川在住ということで、受賞直後にお願いし、快諾を得ていた。■■■■■さんのお話が聞けると楽しみにしていた方も多く、急な体調不良で残念だったが、有益な映像を通してお人柄まで知ることができ、更にゆったりと意見交換ができ、有意義な時間となった。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 参加者減少傾向は変わらず、活動の勢いも衰え気味だったが、新たな運営委員も加わり、「集い」開催を中心とした活動に絞って、細々と続けていこうと励ましている。話題は多々あるので、上映会なども含め、継続する。広報活動もより幅広く置きチラシ、情報紙などへも提供などで参加者が増える工夫をする。講演者の急な不都合などの対策をあらかじめ、立てておくことも必要と教訓を得た。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

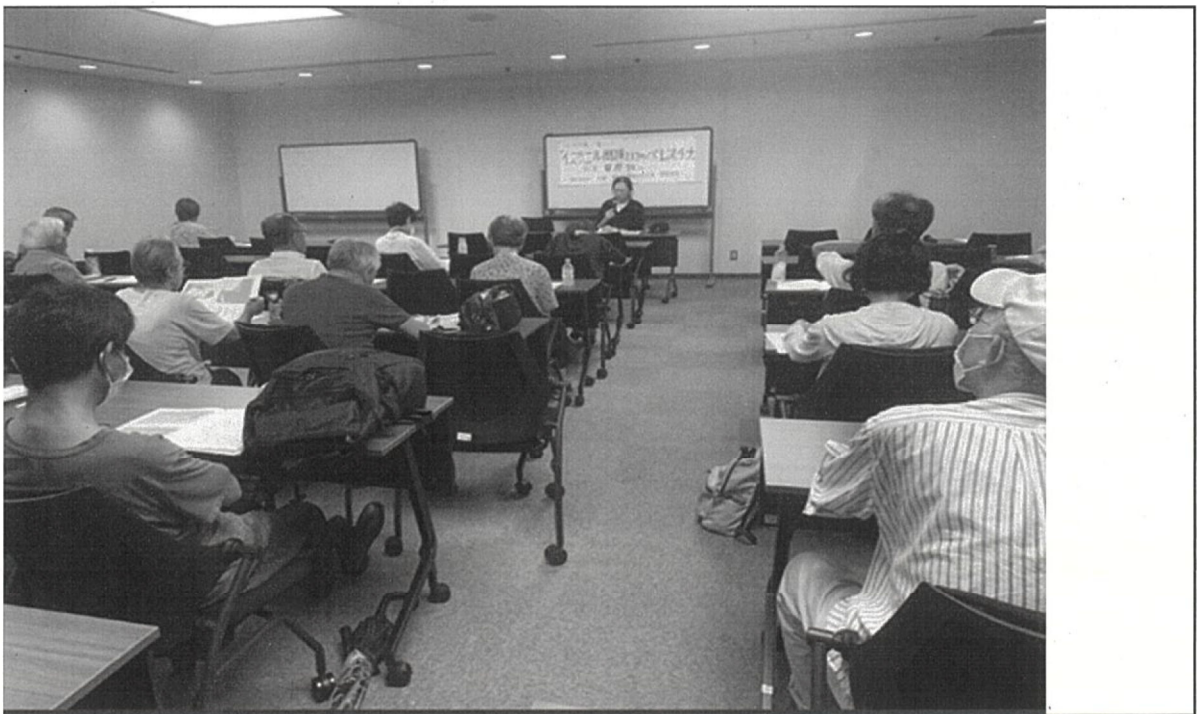
タイトル : 「集い」 1

撮影年月日: 2024年5月4日



タイトル : 「集い」 2

撮影年月日: 2024年8月31日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：戦争はいやだ！いのち・人権こそ！

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	32,000	参加費 12,800円+19,200円
寄附金収入	3,353	
補助金収入	65,900	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	12,303	団体の本会計より充当
補助金返金	-19,260	
合 計	94,296	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	40,000	40,000	「集い」講師謝礼金20,000円+20,000円
交通費			
消耗品費	20,451	20,451	コピー用紙、封筒、看板
印刷製本費	3,215	2,200	案内チラシ、配布資料代
通信運搬費	18,650	18,650	案内等送付、切手代
保険料			
使用料及び賃借料	11,980	11,980	市川市文化会館、八幡市民会館使用料等
原材料費			
合 計	94,296	93,281	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月 31日

市川市長

団体名 ASB
(団体番号 91)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	83,217円
(2) 補助対象経費総額	57,910円
(3) 補助金交付決定額	29,355円
(4) 補助金交付概算払額	29,355円



[事業報告書]

事業の名称	家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業
事業の実施 時間・実施 場所・内容	野外教室：令和6年8月24日・25日に5家族15名で柏井キャンプ場をお借りして開催。 小麦粉からパンを作りました 工作教室：令和7年1月19日に1家族2名で市川駅南公民館にて行いました。 割りばしてっぼうとガリガリプロペラを作りました 両イベントとも2名のスタッフで行いました。
広報実施状況（市民の参加を呼びかけるために実施した広報などの実施状況を記載してください）	市民まつりの参加は当日の雨により実質不可能なコンディションで参加を断念しました 工作教室の宣伝も1組で終わってしまったのは残念な結果です 野外教室に関してもホームページを活用した成果は出ていたものの1家族の参加で終わったので満足な結果とは程遠い内容でした
事業の成果	市民活動団体支援制度に参加したこと、また、事業を実施したことによってどんなメリットがあったか、あるいは地域がどう変わったかなど、得られた成果を具体的に書いてください 唯一の宣伝場所である市民まつりでのアピールが出来なかったことが残念な結果につながったので来年度も参加することは決定しています。ホームページ活用が徐々に浸透し始めてるので宣伝活動は継続することになりました
課題（今後の方向）	事業を実施したことによってどんな課題を把握したか、また課題を解決するための方向性について記入してください。 市民まつりの参加は継続することとホームページの活用をさらに促して活動の活性化を図ります 各イベントに関してはスタッフの高齢化が進行してるため活動の継続を模索することで活性化を図ります

※活動の様子がわかる写真を2枚添付してください。

タイトル: 参加者のみなさん

撮影日: 2024. 8. 20



タイトル: 工作



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：家族向け野外活動や伝承遊びの普及事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	10500	キャンプ参加費 1家族 9,500円＋工作教室 1家族 1,000円
寄附金収入		
補助金収入	29355	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	43762	団体の本会計より充当
補助金返金	▲400	
合 計	83217	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費			外部講師等の招へい なし
交通費			
消耗品費	51518	31550	食材費、氷・飲料、虫よけ・洗剤、道具（竹用ド
印刷製本費	700	700	コピー代
通信運搬費	10859	9240	ハガキ6,459円、切手4,400円
保険料			
使用料及び賃借料	20140	16420	市民まつり参加料16,800円、市川駅南公民館 3,340円
原材料費			
合 計	83217	57910	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024年12月30日

市川市長

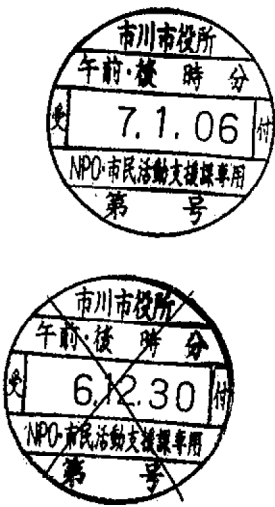
団 体 名 市川でよい芝居をみる会
(団体番号 92
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1, 2 0 7, 4 1 6 円
(2) 補助対象経費総額	8 0 7, 6 5 0 円
(3) 補助金交付決定額	1 5 0, 0 0 0 円
(4) 補助金交付概算払額	1 5 0, 0 0 0 円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第24回公演「行きたい場所をどうぞ」(青年劇場)演劇鑑賞会
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	1, 5/30総会開催の折り、青年劇場制作部の担当者に参席いただいて、上演芝居の製作の経緯や劇団の取り組みや芝居の内容などを披露していただいた。共催団体の担当者らを含めて30数名の参加を得て本取り組みの成功を誓い合った。 2, 6月から8月にかけて両団体が得意分野を生かし合って、公演チラシやチケットの制作、自治体関係やマスコミに後援申請、広報活動を展開した。 3, 9/21にプレイベントとして両団体の関係者ら30名程が集い、原作者と出演俳優を呼んで、今回の物語を書くきっかけや思いを語っていただき、本公演の成功に向けてのはずみとした。 4, 予定通り11/23に本公演を開催し、スタッフを含めて300名近い市民に観劇いただいた。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	1. 市関係部所を介して各公民館などの公共施設に置きチラシを配布。さらに市内小学校全校の生徒に公演チラシを配布。 2. チラシを会員やサポーターから知人友人へ公演へのお誘い、また、いちかわ市民ミュージカル公演や船橋演劇鑑賞会例会の際にチラシの折り込みを依頼。 3. 後援いただいた千葉日报社、東京新聞の千葉版や文化会館イベントガイドへの公演告知掲載と会員向けに折り込み。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 1, 当会は1994年に活動開始以来、ちょうど30年を迎え、ほぼ年に一度これぞという芝居や映画を地元市川市に呼んで、市川市および近隣の市民らに鑑賞いただき、文化芸術に触れながら社会平和・思いやりや人間愛を育んでいくことを目的としてきましたが、公演後の俳優や原作者とのロビー交流会やアンケートやホール退出時の言葉「もっと自由でいいんだ」「自分の存在が何なのかわかった気がした」「涙が止まらなかった」「力強い演技が良かった」「子育て中なので子どもへの関わり方を考えさせられた」など、本事業の目的を十分果たせたと実感できた。 2, 当補助金制度を活用できたことで、観客には他での公演より安い料金設定ができ、日頃安価な観劇を企画している子ども文化ステーションもいつもと変わらない低額で本格的な芝居を子どもたち会員に観劇させることができた。 3, 今回は活動歴50周年となるNPO法人市川子ども文化ステーションと共催で開催したことで、合わせて300名(わが会は110名ほど)の児童、青年、大人、高齢者と幅広い年齢層と一緒に鑑賞したことで世代を超えて市民が一体となって本格的な文化芸術に触れてもらえた。劇団からもこのような幅広い年齢層と一緒に観劇してもらう機会はなかったことから、画期的なことと称賛された。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 1, 今回共催した双方の団体とも単独では、本公演のような企画は成立させられない力量となっていて、今回のように協働して開催できたことで、共にかろうじて収支バランスが取れた。今後もこの形態ができるよう協力していくことが望ましい。 2, わが会の参加者はコロナ渦をはさんで、これまで以上に高齢化し、夜の外出は難しくなっていることと、半面、児童や若い世代は平日はもとより土日でも昼間は何かと忙しく、今回は土曜祭日でありながら、公演時間を結局16時開演とせざるを得なかったことから、高齢者にとっては終演時間が暗くなってしまうということで、チケット普及がコロナ前の300の半分にも及ばなかった。今後はもう少し季節が早い時期に設定できるよう、もっともっと先々を見つめて企画運営して行く必要がある。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 公演前の劇団員と当運営委員らとの顔合わせ

撮影年月日 2024.11.23



タイトル : 終演後のロビー交流会

撮影年月日 2024.11.23



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第24回公演「行きたい場所をどうぞ」（青年劇場）演劇鑑賞会

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	290,400	チケット代 113人分 一般 2,700円×72人=194,400円 会員 2,500円×33人=82,500円 高校生以下・障がい者 1,500円×7人=10,500円 一般当日券 3,000円×1人=3,000円
寄附金収入	9,120	当日カンパ等
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	616,690	子ども文化ステーション持ち分 報償費・劇団経費・会場使用料分担金、本公演チラシ印刷代
会費充当	141,206	団体の本会計より充当
合 計	1,207,416	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	750,000	750,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> ／なし
消耗品費	6,387		コピー用紙、インクカートリッジ、郵送用封筒
印刷製本費	69,650	57,650	公演本チラシ30,000枚（含む学校宛）57,650円、 会報・プログラム印刷費
通信運搬費	24,780		総会案内94円×70通、イベント案内84円×80通、公 演案内85×30通ほか
使用料及び賃借料	179,040		市川市文化会館小ホール （音響照明、付帯設備費を含む）
その他の経費	177,559		劇団経費（劇団搬出入経費、食糧費等）130,000円 会議運営費（総会費、会議室使用料等）47,559円
合 計	1,207,416	807,650	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月 31日

市川市長

団 体 名 QP杯少年野球リーグ

(団体番号 100)

代表者名

所 在 地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	510,229円
(2) 補助対象経費総額	302,045円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	小学生の健全育成を図る野球大会の開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ■実施概要 4月 開会式(3/24)、リーグ戦 9試合 5月 リーグ戦 2試合 6月 リーグ戦 4試合・グラウンド整備(北方) 7月 リーグ戦 4試合・ナイター野球大会(7/20) 8月 リーグ戦 猛暑のため中止 9月 リーグ戦 5試合・グラウンド整備(大野) 10月 リーグ戦 4試合・グラウンド整備(北方) 11月 リーグ戦 8試合 12月 納会(中止) 1月 母ソフトボール、閉会式(1/13) 翌年度準備作業 2月 翌年度準備作業 3月 翌年度総会(3/8) 翌年度準備作業
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	当リーグ戦のホームページにて広く市民に広報活動を行っています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市川市北部地域の少年野球チームを中心とした当リーグでは、地域の学童選手がいつでもグラウンドで安全に野球ができるよう整備にも大変力を入れております。定期的な草刈りの他、夏場は特にグラウンド及びアップ場の草木の成長が早く、草刈機を用いておりますのでそこにかかる経費等を補助金を活用することで、良好なグラウンド状態の維持が出来、グラウンド運用ができました。一番の消耗品であるボールも十分に供給ができました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 引き続き、良好なグラウンド状態を保持するため草刈に伴う諸費用にこの補助金を継続して活用していくことが必要であり、また外周ネット他修繕に関してもできることは自分達で補修を行うため、同様に行っていきたい。地域と一体になって少子化で減少する野球人口を回復させるために、まずはこのような土台(グラウンド)を保持していることをもっと広報活動していきたい。また、ボールの供給や岩瀬砂等により整形することにより水捌けの良いグラウンドコンディションでプレイができるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えます。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : QP杯閉会式及び母親ソフトボール

撮影年月日: 令和 7年 1月 13日



タイトル : QP杯草刈り・グラウンド整備の様子

撮影年月日: 令和 6年 10月 5日他



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：小学生の健全育成を図る野球大会の開催事業

1【収入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	243,000	参加費27,000円X9チーム
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	100,000	鈴木財団助成金
寄附金収入	15,000	役員及び報償品作成会社寄付
会費充当	2,229	団体の本会計より充当
合 計	510,229	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	167,614	0	メダル、表彰状
交通費	0	0	
消耗品費	308,189	290,000	試合ボール、野球道具、グラウンド補修備品、草刈機整備、草刈り機燃料
印刷製本費	2,790	0	資料印刷、コピー代
通信運搬費	12,045	12,045	郵便代
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	
その他経費	19,591	0	水道代、事務局費
合 計	510,229	302,045	

※ 領収書（原本）を添付してください。